

# 江戸落語を愉しもう

## PART 2



### (講師プロフィール)

岡山の江戸落語の重鎮。岡山素人落語会寄人会出身。日本大学芸術学部落語研究会所属。

江戸落語は華やかさより渋さを好み、人情噺が軸で、江戸の小粋な人間模様を描きます。古典落語で語られる普遍的な親子の愛情の物語、師弟愛、夫婦愛、男女の恋などの人情味あふれる人情噺は、長い年月や生活環境の変化を経ても、人々に受け継がれ、笑いや涙を誘います。

昨年に引き続いての講座です。前回は「年越し蕎麦」と「子はかすがい」の人情噺を聴かせていただきました。江戸落語の世界をたっぷり愉しみましょう。

笑いの半分は噺家の能力、半分は聞く人の能力と言われます。

笑うことができるのは人間だけです。笑えるというのは幸せなことです。私たちは、笑うことのできる環境のありがたさを感じます。人は生涯の中でどれくらいの時間を「笑うこと」に費やしているのでしょうか。人生80年とした場合、「笑う」のは22時間。赤ちゃんは1日400回、20代で15回、50代になると7回まで減少します。皆さんは1日何回笑っていますか。笑うことによって、人との接し方が楽しいものになります。笑顔で元気に生きていきましょう。



11/2 土 13:30 ~ 15:30

講師

岡山おもれえ会 美味えもん倶楽部 副会長

笑皆亭 口口氏

会場

玉島市民交流センター 湊ホール

入場無料

どなたでもお気軽にお越しください!

主催：玉島公民館(玉島市民交流センター内)

倉敷市玉島阿賀崎 1-10-1 電話 526-7625